

～ 第6次豊川市総合計画策定にあたって ～

少子高齢化を伴う人口減少への対応として、

「定住促進」と「交流促進」

を重点テーマとします！

1 目的

本市の人口は、平成20年12月の183,259人をピークに減少傾向にあり、少子高齢化も進行しています。

少子高齢化を伴う人口減少は、地域の活力や経済に与える影響が大きいことから、今後のまちづくりにおいては、人口減少を抑制するために住み続ける人を増やす「定住促進」や、地域の活力を増進するために来訪者を増やす「交流促進」が重要となります。

第6次豊川市総合計画の策定にあたっては、住みよさを実感でき、いっそう活気があるまちを目指して、本市の持続的な発展を支えるまちづくりを実現するため、少子高齢化を伴う人口減少への対応として、「定住促進」と「交流促進」を重点テーマに設定し、計画づくりを進めることとします。

2 重点テーマの位置づけ

(1) 市民参画における位置づけ

市民参画の取組みとして実施する「団体アンケート」、「まちづくり市民ヒアリング」、「まちづくり中学生会議」、「総合計画審議会」における議論等の一つの視点として、「定住促進」と「交流促進」の取組みに関する意見を求めることとします。

(2) 策定会議における位置づけ

策定会議が作成する基本構想及び基本計画の原案作成においては、市民参画の取組みにより得た意見を踏まえ、「定住促進」と「交流促進」に寄与する取組みを計画に位置づけることとします。

3 少子高齢化を伴う人口減少への対応イメージ

